

来週の「売り物」記事はこれ



2013年11月15日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

風評に負けない！ 福島・川内村

アイガモ農家 孤高の反乱 朝刊 17日（日）



ストーリー

カエルの詩人、草野心平が愛した福島県川内村一。福島県屈指の米どころとして知られていました。すべてを一変させたのが東京電力福島第1原発の事故でした。原発から二十数kmしか離れていないことから、事故直後、村長は全村民約3000人の避難を決定しました。しかし、自分たちの責任で村から離れ



なかった人たちがいます。農家の秋元美誉（よしたか）さん（70）もその一人です。アイガモをつかった稲作に取り組んできました。「孫に安全な米を食べさせたい」と始めた有機農法でしたが、その夢は打ち砕かれました。事故後の試験的な作付けでその安全性が確認されても、いわれなき風評が気力を萎えさせたこともあったといいます。そして今年、事故後初めて「食べてもらえる米」が収穫されました。名付けて「福幸（ふっこう）米」。川内村だけではなく、東日本大震災とそれに続く原発事故で深く傷ついた農家たちの「希望の星」になっています。被災から収穫までの3年近くの苦闘の日々を追いました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

「じえじえじえ」「倍返し」だけじゃない

流行語で読み解く2013年

夕刊2面特集ワイド 22日（金）



1984年開始から今年で30年。年末恒例、「現代用語の基礎知識」が選ぶ新語・流行語大賞の候補が20日発表される。今年は「じえじえじえ」「倍返し」「おもてなし」「アベノミクス」「今でしょ」など分かりやすい強力候補が目白押しと言われるが、一方で「意外なものが選ばれるかも」ともささやかれる。中村うさぎさん、高橋秀実さんら有識者が候補の言葉から2013年を振り返る。

みんなの歯磨き くらしナビ面 18日（月）～20日（水）

正しい歯磨きはできていますか。「せっかく磨いているのに、合格点の磨き方ができている患者は1割弱」と断言する歯科医も。歯ブラシや歯磨き剤の選び方に始まり、磨くタイミングや歯ブラシの持ち方など、今さら聞けない歯磨きの「いろはのイ」を紹介します。「基本」「磨き方」「グッズ」の3回連載です。



缶詰活用レシピ くらしナビ面 18日（月）



保存食の代表、「缶詰」。最近の種類も豊富で、ひと手間かければ日常料理でも十分使えます。おいしい缶詰料理のポイントを、自称「缶詰博士」の黒川勇人さん（47）に聞きました。

人生の後半は、本当に好きな人とのんびり過ごしたい——。そんな思いで、パートナー探しをする中高年が増えています。シニア対象のお見合いパーティーや結婚相談所は大盛況。最良のパートナーとめぐり合うためのシニア婚活のポイントを、ベテランアドバイザーに教えてもらいました。



インサイド「進化するファンタジスタ 中村俊輔」

19 日 (火) から 5 回



J1リーグの優勝争いが大詰め。日本代表を離れたベテラン・中村俊輔選手＝写真＝は、9季ぶりのリーグ優勝を目指す横浜F・マリノスをけん引しています。欧州リーグで計7年プレーし、Jリーグに復帰して4季目。2010年のワールドカップ南アフリカ大会では出場機会に恵まれず、マリノスも昨季は降格の危機に直面するなど紆余曲折を経験した中村選手。今季は絶好調で、優勝を争うチームで存在感を増しています。タイトルへの思い、リーダー論……。35歳にして、なお進化を続けるその秘密に迫ります。